

# ITなんでも相談ニュース

平成16年 10月号

今月の三知識！！

## 自分でできるセキュリティ対策！

「コンピュータウイルス」とは、不特定多数の人を困らせるために作成された悪意あるプログラムのことです。もしもウイルスに感染すると、データを書き換えられたり、嘘の情報で使用者を混乱させたり、パソコンが起動しなくなるという現象が起きます。でも、ウイルスは、その機能や侵入経路などがわかれば、防御できるものです。ブロードバンドを楽しむために、自分でできることから対策を始めてみましょう。

### 《簡単にできる3つのウイルス対策》

侵入経路をふさぐ ソフトの欠陥を修正する メールの添付ファイルに気を付ける

について、WindowsXPには独自のファイアウォール機能が付属しているのです。この機能を有効にする方法を説明します。

1. 「スタート」「設定」「コントロールパネル」を開きます。
2. 「ネットワークとインターネット接続」「ネットワーク接続」
3. 「ダイヤルアップ接続」または「LAN・高速インターネット」の下にあるアイコンの中からファイアウォールを設定するアイコンを選択。
4. 左側の「ネットワークタスク」の中から「この接続の設定を変更する」をクリック
5. 「詳細設定」「インターネット接続ファイアウォール」の下にある「インターネットからのコンピュータへのアクセスを制限したり防いだりしてコンピュータとネットワークを保護する」の左下にあるチェックボックスにチェックします。
6. OKをクリックし、「プロパティ」を閉じると、ファイアウォールが有効になります。

については、「Windows」を最新の状態にしましょう。詳しくは裏面。

については、「Outlook Express」でメールを自動表示させないようにしましょう。詳しくは裏面。

詳細については、マイクロソフトのセキュリティホームページをご覧ください。

<http://www.microsoft.com/japan/security/>

ITなんでも相談

毎週 水曜日 午前10時～午後4時（12時から1時はお昼休憩）  
出張相談は午後のみです。事前に予約願います。

【場 所】 街情報ステーション（岡崎市康生通東2丁目43）  
【問 合 先】 【TEL】 0564-53-6191 岡崎商工会議所  
0564-22-5720 街情報ステーション  
【E-mail】 info@okazakicci.or.jp



## 「Windows」を最新の状態にしましょう

マイクロソフト社では、問題点を発見した場合にプログラムの修正モジュールを、ユーザーがダウンロードできるようにしています。

1. 「スタート」 「Windows Update」をクリックすると、自動的にマイクロソフトのサイトに接続します。
2. 「更新をスキャンする」をクリック。利用しているパソコンに必要な修正モジュールの有無をチェックします。
3. 重要な更新が見つかった場合、「更新の確認とインストール」が表示されるので、クリックすると適用作業が開始します。

自動的にマイクロソフト社からの今後の重要なセキュリティの更新を行う方法があります。

1. 「スタート」 「設定」 「コントロールパネル」
2. 「パフォーマンスとメンテナンス」をクリック。
3. 「システム」をクリックし、「システムのプロパティ」を開きます。
4. 「自動更新」をクリック。「コンピュータを常に最新の状態に保つ」のチェックボックスにチェックを入れます。
5. 「設定」を決めます。  
「更新を自動的にダウンロードして、指定したスケジュールでインストールする」を選択して「毎日」更新されることをお勧めします。

## 「Outlook Express」でメールを自動表示しないようにしましょう。

メールソフトでメールをプレビューするだけでウイルスに感染することがあります。メールをプレビューしないようにする設定を紹介します。

1. Outlook Expressを起動します。
2. メニューバーの「表示」 「レイアウト」を選択。
3. 「レイアウト」画面から「プレビューウインドウを表示する」のチェックボックスのチェックを外します。